

Zozo Tokyo ヨは空すト

程同興野しら百オ



ブロガーと直接意見交換し、ブログを通じて公開される

人気を呼んでいる。自分たちのウェブページを持ちたいカップルはまず同サイトに登録。二人の出会いからプロポーズまでのエピソード、両家の親せきや付添人などの関係者を写真付きで紹介する。結婚式の出欠のほか、結婚式場への交通・宿泊情報も掲載。

### 結婚支援の総合

ウェブページのデザイン・背景などレイアウトは数種類あり、写真をはり付けるのも簡単。パソコンに詳しくない人でも手間をかけずにつくれるのが人気の秘密だ。米国にはもともと、結婚式の招待と出欠をとるサイ

### 挙式出欠確認

新婚カップルののろけ話を公開したり読んだりするのは、日本人にとつてやや抵抗も覚えるが、米国では婚約発表を新聞に載せる習慣もあり、読ませる側も読む側も楽しんでるようだ。(ニューヨーク＝河内真帆)

三月からは各個店向けにブログ(日記風の簡易型ホームページ)構築支援などの有償サービスを実施する。併せてゾゾナビを使った客の年齢、性別、居住地といった属性

(実名は伏せる)のほか、他のショップとの買い回り状況といった情報も提供する予定だ。実際の店舗への客の誘導については、前澤社長は「ネットショップの売り

上げ減少につながるという利益相反にはならぬ」とみる。ネットで見たい客のニーズにかなうよう、実際の店舗で好みのサイズや色がなかった場合にはネット

での購入につながることを期待できるという。検索サイトに参加する実際の店舗は当初、一千家だが、三月には三千家、一年後には一万店まで広がる予定。

システムは携帯電話と手のひらサイズの小型リーダーライターがあれば利用できるため、スーパーやデパートの特売売り場など臨時設営の現場での出退室管理などにも活用できるとみている。

## 入退室管理に簡易版

### システム・デザイン・ジャパン 携帯・ICタグ活用

【福岡】システム・デザイン・ジャパン(大阪市長、浅利五郎社長)は、携帯電話とICタグ(電子荷札)を使った簡易版の入退室管理システムを開発した。二月から実証実験を開始。将来的には全国の児童関係の施設や小売店の臨時設営現場な

ら、来月一日から福岡県春日市の学童保育施設で実証実験を始める。具体的には独自に開発したリーダーライター(読み書き機)を携帯電

話に接続し、施設の入り口に置いておく。児童はICタグ付きの名札をかざすだけで、端末が名札の番号から個人を識別し、自動的に保護者の携帯電話に児童の来所や帰宅の情報をメールで送る。

施設の登録されたパソコンにも自動的に情報が送られ、担当者は児童全員の入退室時間を一覧で見る。従来は指導者が手書きの出席簿で子どもの出欠を確認するだけのケースが多かったが、日常的に子どもの状態を把握したい親のニーズが高いと判断した。

同社では実験後、全国の拠点を通じて製品を他の都道府県などの児童関係施設などに売りこみたい考え。初期導入費用は約十二万円で、ソフトの

年3月期) zozo.co.jp/



を縮める

違いがわかってもらえないと考える。特にホームページに連

ラベルを見ただけではどんな料理に合うかわからないだろうという配慮が

代に反映せざるをえなくなるという理由で積極的な広告やDMはほとんど